

平成二十三年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「冬」

期間 平成二十三年十一月一日～平成二十四年一月末

投句数 一、七六四句

特選三句

天

寒満月いま老松を離れたり

東京都大田区 山田隆紀

地

初詣一句を投ず東慶寺

埼玉県春日部市 白坂とよ子

人

銭洗ふふたりの背ナへ日脚伸ぶ

神奈川県横浜市南区 岸本隆雄

入選句

一般の部

小旗立てお国訛りや古都小春

神奈川県横浜市港北区

一宮英典

鎌倉に住む幸せよ雑煮餅

神奈川県鎌倉市

伊藤俊昭

初日さす観音堂へ道しるべ

東京都杉並区

稲垣克巳

鎌倉の歴史を巡る冬帽子

神奈川県横浜市泉区

江口隆人

冬帽のお洒落な人の鎌倉路

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

小原循子

探梅や虚子と立子の句帖あり

東京都品川区

海 緑風

初夢やこの世あの世の入り乱れ

東京都練馬区

勝田剛史

美人画の捨つるに惜しき古曆

東京都世田谷区

河原久廸

着脹れて虚子庵句碑に見えけり

神奈川県藤沢市

近藤 拓

寿福寺の雨音しづか石路の花

香川県高松市

島谷碩洲

冬紅葉仏足石に散りやまず

神奈川県横浜市都筑区

菅原文子

冬の朝手に取れそなた富士の山

千葉県鴨川市

鈴木芳郎

百僧の読経たしかに十二月

神奈川県鎌倉市

兵藤寿恵

磯の香を背負つて帰る冬の道

東京都世田谷区

村瀬光男

吹き上げて寺より高き枯葉かな

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

(順不同)

入選句

子どももの部

小春日にいざ鎌倉と友とゆく

埼玉県さいたま市南区

石宇杏梨

長谷寺で冬あたたかだうれしいな

神奈川県横浜市磯子区

太田峻輔

建長寺山門くぐって枯葉ふむ

埼玉県さいたま市南区

小野貴広

七五三大仏様も見てるかな

埼玉県朝霞市

木下あかね

長谷寺で小春をかんじいい気持

神奈川県横浜市磯子区

木幡未来

はつもうではちまんぐうに行こうかな

神奈川県横浜市泉区

佐藤由奈

日が暮れて北風吹くよ帰り道

埼玉県さいたま市南区

高橋知里

江ノ電にきれいに映る冬紅葉

埼玉県さいたま市南区

田中里佳

大仏の影の長さに冬感じ

埼玉県さいたま市南区

戸田侑希

冬休み思い出作り鎌倉へ

千葉県市川市

難波将平

報国寺落ち葉ふみ分け一休み

埼玉県さいたま市南区

林輝宙

枯葉を見鎌倉の歴史感じるよ

神奈川県横浜市磯子区

東野舞珠

大仏は風邪も引かずに冬耐える

埼玉県さいたま市南区

福山健造

友達と落ち葉ふみゆく高德院

埼玉県さいたま市南区

宮谷遼

江の島の海を見ながらひなたぼこ

神奈川県横浜市磯子区

柳平実紅

(順不同)